

令和7年度「入退院支援連携強化研修会(ガイド編)」について

資料4

《 参加者状況 》

日時:令和7年11月14日(金)18:30~20:00 会場:函館医療センター新棟大会議室

研修参加人数:57名

・職種別 参加人数

種別	参集予定人数	参加人数	内訳
居宅ケアマネジャー・包括職員	15	11	(居宅6・包括5)
施設職員	10	8	
訪問看護師	5	9	
リハビリスタッフ	5	5	
病院看護師	10	7	(病棟6・病棟以外1)
MSW・退院支援看護師	10	10	(MSW7・退院支援看護師3)
薬剤師・歯科衛生士・栄養士	5	7	(薬剤師3・歯科衛生士2・栄養士2)
合計	60	57	

・参加状況

	令和7年度	令和6年度
初回参加	46 (80.7%)	49 (83.1%)
2回目以降の参加	11 (19.3%)	10 (16.9%)
合計	57	59

《 アンケート集計結果 》

n = 55 (回収率:96.5%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	30	(54.5%)
・介護機関	25	(45.5%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・保健師	0	(0.0%)
・看護師	19	(34.5%)
・ケアマネジャー	9	(16.4%)
・相談員	5	(9.1%)
・社会福祉士	8	(14.5%)
・リハビリスタッフ	5	(9.1%)
・薬剤師	3	(5.5%)
・栄養士	1	(1.8%)
・歯科衛生士	2	(3.6%)
・その他	3	(5.5%)

(施設長, 介護福祉士, 介護士)

3. 今回の研修はいかがでしたか。

・よかった	55	(100.0%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・よくなかった	0	(0.0%)

【ご意見等】

多職種の見解が聞けた事がよかった

- ・多職種の方の見解を聞くことができよかったです。(同5件)
- ・ふだん、会話や意見交換ができない職種との話がきけてよかったです。
- ・退院支援には普段かかわっておらず、色々な職種の方の見解がきけたのがよかったです。
- ・多職種のズレ(考え)がよくわかりました。多職種の方との話し合いがよい研修になりました。
- ・ふだんのズレなど、モヤモヤを共有できてよかったです。
- ・他職種の方とディカッションすることがなかったので、他職種からの視点や意見をきけて良かったです。
- ・入退院支援に普段なかなか関わる事が少ないですが、多職種の方の日常の見解を聞くことができよかったです。もっと話せるように頑張りたいです。
- ・同じテーマでしたが今回もディカッションができてよかったです。

情報共有の重要性／多職種協働の必要性を再認識

- ・職種によってポイントが異なることがわかり良かった。多職種協働の必要性が広まると良いと思う。
- ・医療・介護それぞれの見解が聞けた。お互いに情報共有の大切さを感じていることがわかりました。
- ・各現場でそれぞれの職種が悩み、工夫していることが共有できてよかった。
- ・情報提供時に病院側が必要な事、在宅側が必要な事を話し合い色々知る事ができて良かったです。
- ・多職種とのグループワークで色々な見解を聞く事ができ参考になった。今後も連携していきたいと思う。

発言しやすい雰囲気

- ・自由に発言しやすい雰囲気でした。色々な職種の方々の見解が聞けて勉強になりました。
- ・話しやすい。グループで何でも話せました。色々な職種の考えもきけて良かった。
- ・温かい雰囲気の中でディスカッションができてとてもよい時間になりました。
- ・初回参加でしたが、リラックスした雰囲気の中、いろいろな職種の方とディスカッションできた。

現場のリアルな声、視点の多様性を得る事ができた

- ・実際の現場の声をたくさんきけた。多職種での考え方や目線がちがった事を聞けた。(同3件)
- ・他職種のそれぞれの視点で話し合いができ、お互いの立場など理解しながら、ズレはあたり前を根底に支援していく必要があると改めて実感した。
- ・他職種の方と話ができ、患者を多角的にとらえて違う視点でみると情報量がすごいなと感じました。
- ・病院の看護師やセラピスト、MSWの話が聞けてよかった。年々相互理解が深まっていると実感する。
- ・入退院による様々な認識のズレを薬局の現場だけだと知る事ができない。そのため、それらのズレをどう解消すべきか、様々な医療職、介護職の視点をしりながら話し合えて、とても勉強になり楽しかったです。
- ・様々な職種、事業所の人達で集まって話すと異なる見解が沢山でき勉強になりました。
- ・他職種の意見、考えをきけたのは良かった。考え方や見方がちがうという事の理解ができた。
- ・ズレの理由、そもそもあるという意識をもてました。
- ・いろいろな職種の方と意見交換ができて、医療と介護の解離が生じている事も気づきました。
- ・多職種、多機関の方々からの話をきくことができた事でズレが生じる背景がみえた。
- ・色々な職種の視点の違い、同じ職種間でも認識が違う事がわかった。

今後の実務への生かし方をイメージできた

- ・ 様々な職種の方のお話が聞けてよかったです。今後の仕事に活かします。
- ・ 様々な職種の意見を聞いてズレの原因や入院中、在宅の違いについて気づきを得る事ができました。情報一つにしても細やかに伝えズレがないように今後気をつけたいと思いました。
- ・ 医療、在宅の連携のズレもそうなのですが、口腔、食事について自分の中で気づいていないズレの部分に気づかせていただきました。今後、退院後の生活をイメージしながらケアに関わりたいと思います。
- ・ 色々な医療機関、病院、在宅の各職種の考え方が聞けて参考になり、自分では気づけなかった視点がわかり今後の仕事にいかせることができる。
- ・ 入退院に携わることは少なかったが、医療・介護のズレ、薬局ができることがわかった気がした。
- ・ 普段きけない職種の方の意見がきけた。同じ思いでいる方たちばかりだということが確認できて安心できた。勇気がでた。これからも改善できることがあれば頑張ろうと思えた。
- ・ 多職種それぞれの立場でのグループワークができ勉強になった。ズレは本人が困ってしまうことにつながるので、ズレはあると想定しながら、うめられるアプローチ連携ができるように今回の学びを日々の連携に役立てたいと思います。
- ・ 病院から施設、自宅へ退院される時サマリーは必要になる。一部介助とはどこまでできるのかくわしく書いて退院先でも暮らしていけるようにしていく事が大切だと学んだ。
- ・ 多職種で普段は聞けないような話ができ、今後の入居面談に役立てていきたいと思います。
- ・ 相談員業務について間もないため、今回「ズレ」について互いの考え方を知ること、解決のヒントをもらえたので参加してよかったです。
- ・ 多職種の様々な認識を知る事ができました。今後、認識のズレはないか多職種との連携、またご本人ご家族とコミュニケーションがとても大切だと考えました。コミュニケーションの中でも何が自分や相手がほしい情報なのか考える必要があると思いました。
- ・ 在宅での入院中やってほしいこと、ほしい情報など、また実際に退院後困ったことなどが聞けて、今後役に立てていきたいと思いました。
- ・ 多職種の方々の意見をきくことができ、改めてよりよい援助のためコミュニケーションを充実していけたらと感じました。
- ・ ズレについて多職種での考え方を聞けて、今後伝えていくための参考にしたいと思った。
- ・ ズレの内容やズレる理由、ズレ解消の方法を話し合っ解決できそうです。
- ・ 多職種の様々な意見を聞けて良かった。それぞれの職種で思っている事などが違うので、それを知る事でより歩み寄っていけるのではと思います。
- ・ ズレに関してしかたがない事と思い、欲しい情報を明確に伝える事で(間取り、段差など)準備(対応)ができる事、そこに気づけるかが大切と思いました。

4. 今後、入退院支援連携について、どのような内容の研修会を希望されますか？

内容 について

- ・ カンファレンスでの話題、どのような内容テーマが好まれるか
- ・ カンファレンスをより良くよくするためにはの研修をしてほしいです。
- ・ ズレではなく、また別なテーマで何か(具体的には思いつかないのですが)お願いしたいです。
- ・ 同様テーマが3年くらい続いていると思うので来年は違ったテーマでぜひ。
- ・ 医療と介護が集まる場の留意点、「もっとこうしてほしい」という意見交換があってもいいかなと思います。
- ・ 同職種間の連携と多職種の連携の違い、メリットデメリット
- ・ なんでも知りたいです。

事例、現場の実際に関わる内容

- ・ 仮のケースもよいですが、実際に困った難渋したケースなどの支援などが聞きたいです。
- ・ 具体的な困難事例を用いて、高齢者や地域で生活する方達の現状を皆で考えるのもよいのかと思う。

- ・ 困難事例など、どのように良い方向に進められたかなど発表
- ・ 同じ内容で事例など知りたいです。
- ・ サマリーの書き方(統一した書き方)や書いてほしい情報を人や職種や病院側から聞きたい。
- ・ ペーパーだけの連携だけではなく、動画などを活用できる方法を
- ・ どのような支援が必要か、いろいろ勉強してみたいです。
- ・ それぞれの立場について知りたい。
- ・ 急性期病院では、どのように対応していけばよいか知りたい。
- ・ 今回のケースが肺炎入院だったので、口腔ケアについて皆さんがどのように関わっているか知りたい。
- ・ 入退院での薬剤に関する問題に関して
- ・ 色々な職種の方から、薬剤師のニーズ、できる事がうかがえると嬉しいです。
- ・ 認知症関係

研修の形式について

- ・ 今回の研修は、すごく学びが多かったので、次回も多職種でディカッションできるとよい。
- ・ 机上よりも、このようなディスカッションの形は色々な意見がきけると思いました。
- ・ 具体的には思いつきませんでしたでしたが、意見交換する場は大切だと思いました。
- ・ グループワークを通じて様々な意見が聞ける研修が有意義だと思います。
- ・ 他職種、多職種の現状を共有できる機会があれば嬉しいです。
- ・ 今回のようなワールドカフェ形式がいい。
- ・ 今回のようなGW。
- ・ 同様な研修。
- ・ 同職種のための研修も参加してみたい。

5. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

- ・ このような機会をつくっていただき、ありがとうございました。(同8件)
- ・ 今研修、楽しかったです。楽しく学べるのが一番です。準備お疲れ様でした。(同2件)
- ・ また参加させていただきたいです。
- ・ 入退院時のサマリーが具体的に書かれるようになると現状を理解しやすいかと思った。現状を正しく知る事が適切なサービス提供につながると思った。
- ・ 顔をみて話し合うことが大切だなと思いました。
- ・ 今回困り事なので「ズレ」というワードですが、各々の専門職、本人家族の視点の話なので、良い方法に進めば「多面的な視点」にもなりうると感じました。
- ・ 話し合いに偏りがあると感じた。一人の話す時間がほしい同じになるともっと意見が出ると感じました。